

日本共産党

よっちゃん通信

日本共産党粕江市議会議員

宮坂良子の活動報告

発行：日本共産党粕江市議団 ☎3430-1177
2022年10・11月号

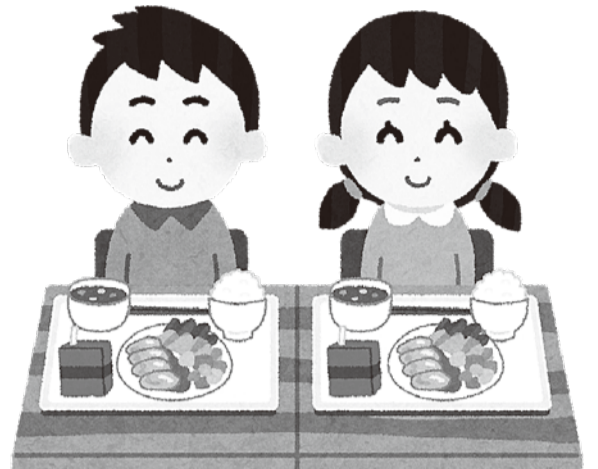


宮坂良子議員の市政報告を紹介します

第3回市議会一般質問

学校給食費無償化を求める

市答弁「子育て関連施策の中で慎重に 検討・判断」



学校の給食は、栄養バランスのとれた食事で、健康と身体の成長・発達を支えるだけでなく、心も豊かにし成長期にある子どもたちにかげがえないものです。

憲法で「教育は無償」

学校教育費は、憲法26条の「義務教育は無償とする」に位置付けられ、本来無償となるべきです。

ところが、保護者の学習費総額は、公立小学校で32万1千円、公立中学校48万8千円と大変重くなっています。

なかでも、給食費は、小学校低学年で月3845円、中学年4067円、高学年4289円、中学校4768円です。小学生2人、中学生1人の3人の子育て世帯の家庭で

3子以降を無料に

葛飾区のように、第3子以

は、年間14万4千円にもなります。

粕江市の調査では、子育て世帯の18～19%世帯が生活困難層で、経済的な理由で、公共料金や家賃を支払えなかった経験や食料・衣類を買えなかった経験のあるという深刻な状況が明らかになっています。しかもコロナ禍、物価高騰で追い打ちをかけています。

降の子どもに全額補助した場合の予算を質問すると教育部長は「該当世帯は140世帯で、概算で年間総額約650万円となる」と答えました。私、宮坂良子は、650万円です。ということなので、まずは第3子以降の無償化を求めました。教育部長は「子育て施策全体の中で、検討・判断していく」と答えました。

学校給食無償化を国へ要請



吉良参議員(中央)と宮坂良子(左側)

10月5日、吉良よし子参院議員とともに学校給食無償化を求めて文部科学省に申し入れました。

吉良よし子参院議員は「7人に1人の子どもが貧困状態にあり、物価高騰の下で、無償化の願いがかつてなく広がっている」と指摘。憲法が定める義務教育無償を国の財源で実現すること、自治体が給食費を補助する事を学校給食法は否定していない、と国が自治体に通知することを求めました。

文科省の担当者は「保護者負担が増えないよう引続き対応したい」と述べました。

緑野小学校

みどりンピック

10月22日緑野小学校でみどりンピックが開催されました。表現では、各学年ともみんなが協力してがんばる姿がすばらしかったです。5年生はソーラン、力強く迫力満点。6年生はブラスバンド、みんなが1つのハーモニーとなって、とても感動的なマーチングでした。



毎月11日に行なっているフラワーデモに参加(10/11)

こまほっとカフェ inアーケード (粕江団地27号棟)



コロナ禍で、人との関わりが少なくなるなか、秋を感じながらおしゃべりを楽しもうと、「こまほっとカフェ」が開催されました。雨が降っていましたが多くの方が参加されました。私も、おいしいコーヒーをいただきながら交流してきました。(10/6)

市政アンケート

物価高騰で、市民の暮らしに大きな影響を与えています。日本共産党市議団は、みなさんのご要望やお困りごとなどを伺い、市政に活かそうとアンケートに取り組んでいます。ぜひ、ご要望をお寄せください。



市政アンケート
QRコード

高齢者のインフルエンザ 予防接種、無料が実現

これまで感染状況が低く抑えられていた季節性インフルエンザが、南半球で流行が報告されたことから、これから冬を迎える日本を含む北半球においても感染



が流行する可能性がある」と危惧されています。こうした事から日本共産党市議団は、決算特別委員会で昨年と同様、無料とするよう求めました。

東京都が予防接種費用の無償化を決めたことを受け、狛江市としても10月4日の補正予算に計上されました。

***対象**は①65才以上の方②60～64才で心臓、じん臓、呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がい等を有する者として厚労省で定める方

***期間**は22年10月1日～23年1月31日

***実施医療機関**に予約が必要ですよ

第3回市議会・決算委員会

学校のトイレに生理用品設置求める ～健康や尊厳を守るために 市答弁「市全体で総合的に検討する」



大和市：学校トイレに生理用品設置

私、宮坂良子は、昨年4月から小・中学校のトイレに生理用品を設置した大和市の取組みを紹介し、狛江市でも学校のトイレに生理用品の設置を求めました。

大和市 トイレに設置

大和市では、「コロナを要因とする経済的な理由が発端ですが、経済的な困窮以外の理由でも自由に使ってほしい」としています。中学校では、事業開始前の保健室利用は、80枚だったのが、1カ月で634枚の配布となり、ニーズが高かったことがわかりました。養護教諭からは「生理の周期が安定しないなか、自分から言い出せない子どもにとって、安心して学校生活を送れることにつながっている」と話します。子どもたちからは「安心して過ごせるように

なった」との声が届いています。

安心して送るために

私、宮坂良子は、なによりも、子どもたちが安心して学校生活を送るためにも、学校のトイレに生理用品を配置することが重要と求めました。

教育部長は「生理用品はすでに学校に備えており、必要に応じて児童生徒に手渡す体制は整えています。新たに学校で配付するご提案に関しては、その必要性を市全体で総合的に検討していくべきものと考えています。教育委員会としては、引き続き他自治体の取組みの効果や手法を注視してまいります」と答弁しました。

生理の尊厳学び

健康や尊厳に関わる重要な課題です。また、生理は女性の身体として生まれれば誰でも起こる現象であり、体や心の不調のため、勉強や体育に身が入らないなど、教育機会にも影響を及ぼします。さらに、生理は「恥ずかしい」「誰にも言えない」ということが多くあります。生理用品の配布が生理について子どもたちが、オープンに学ぶ機会とし

て、リプロダクティブ・ヘルス・ライツの観点から、生理の尊厳としての学びを深めていくことなどが重要であると提案しました。

加齢性難聴者に 補聴器助成求める

第3回市議会

ある方から声が寄せられました。「子どもにテレビの音が大きいといわれ、1年悩んだ末補聴器を買いました。費用の援助があれば悩むことなく買ったのに。耳が聞こえないのは本当に大変です。グループの中で話の内容がわからず、輪には入れません。」と言います。

「聞き取りにくい」を放置すると、家庭でも社会的にも孤立しやすく、引きこもりがちになり、認知症の要因にもなります。

補聴器の使用で認知障がい抑制する効果が示されています。



補聴器購入補助求める
厚生労働省要請行動に参加

豊島区では、医師会と連携し、アプリを活用して、「あなたの聞こえは大丈夫？耳の健康チェック」を行なっています。語音聴取率60%未満だった方には耳鼻咽喉科を案内しています。

私は早期発見のため、このような取組を実施することを求めました。さらに高齢者の切実な要望であり、元気で安心して日常生活が送れるよう、補聴器購入費用への助成を求めました。

生活なんでも相談

コロナでお困りごと、
くらし・子育てのことなど

お気軽にご相談ください



生活相談

宮坂良子事務所
毎月第2土曜日10時～12時

法律相談

毎月第1火曜日13時～15時
(予約してください)

連絡先

事務所：和泉本町4-1-10-105 ☎ 3480-1895 自宅☎ 5497-2828
携帯☎ 080-1268-9295 メール yoshiko.1228@docomo.ne.jp